

## ふるさとリーサム地区 まちづくりだより

※地区名称：子や孫が帰ってきたくなる活気のあるまちづくりを進めることから名づけられました。サムは、小路北町（S）・打上新町（U）・明和（M）の頭文字を指します。発行：ふるさとリーサム地区まちづくりを考える会  
ふるさとリーサム地区まちづくり協議会

## 市営住宅 改良住宅4号棟の除却について

市営住宅 改良住宅4号棟（右記参照）は、老朽化等により、危険であり、地域の皆様の安全性を確保するため、用途廃止により、建物の取り壊し（除却）をすることになりました。



※改良住宅4号棟は、平成25年度に取り壊し予定です。

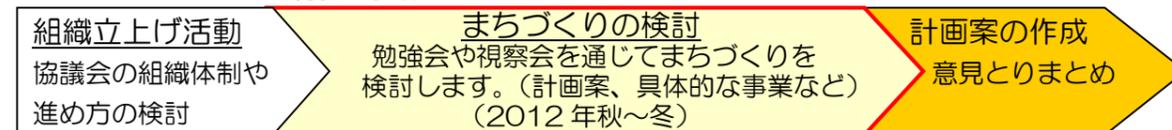
## まちづくり協議会の今年度の活動スケジュール

平成24年度の活動計画は次のとおりです。

なお、検討プログラムは、現時点の予定であり、変更する場合がありますのでご了承下さい。

	開催内容	検討プログラム
9月	設立総会（9/24）	協議会規約の制定、役員選任、活動計画の承認
10月	第1回役員会	まちづくりのルールについて
11月	第2回役員会	道路・建物のルールについて まちづくりの方向性について
	先進地区の視察	考える会と合同で先進地区の事例の視察
12月	第3回役員会	庁内検討委員会の報告 まちづくり整備計画素案について
1月	第4回役員会	まちづくり整備計画案の作成について
2月	総会	まちづくり整備計画案の報告 今年度の活動内容報告
3月		

### 現在の状況



### まちづくりだよりの問い合わせ先

- ・寝屋川市まち政策部都市計画室
- ・電話：072（824）1181
- ・FAX：072（825）2618
- ・Email：tosikei@city.neyagawa.osaka.jp



## ふるさとリーサム地区まちづくり協議会が発足しました

9月24日（月）ふるさとリーサム地区まちづくり協議会の設立総会がいきいき文化センターにて開催されました。（当日出席33名、委任状出席81名）冒頭、木邨世話人代表より、まちづくりの必要性について挨拶されました。

協議会の会員からは、「まちづくりとして取り組むべき区域の考え方について教えてほしい」「地権者だけでなく、居住者の意見の反映など、協議会としてのまちづくりの進め方を考えてほしい」といった御意見をいただきました。

設立総会では、協議会の規約の制定、協議会役員を選任（詳細は下記参照）、今年度の活動計画について審議され、賛成多数により承認されました。

今後、活動計画に基づき、まちづくりを進めていきます。（活動計画の詳細は最終頁参照）



設立総会の様子

## 協議会役員ならびに会長・副会長を選任しました

設立総会において、下記の方々が協議会役員に選ばれ、会長に木邨忠保氏、副会長に木邨博視氏、北井勇氏、西本一秀氏が選任されました。（下記役員一覧参照）

今後、役員共々ふるさとリーサム地区のまちづくりに取り組んで参りますので、会員皆様のご協力よろしくお願いいたします。

### ふるさとリーサム地区

#### まちづくり協議会 役員一覧

（敬称略。理事は五十音順）

- ・会長：木邨 忠保
- ・副会長：木邨 博視
- ・〃：北井 勇
- ・〃：西本 一秀
- ・理事：荒木 佐智子
- ・〃：北田 信也
- ・〃：木村 敏明
- ・〃：西田 浩司
- ・〃：飛山 敏博
- ・〃：松岡 哲夫
- ・〃：山口 芳泰

### 木邨会長の挨拶

協議会会員の皆様、協議会の会長を務めさせて頂くことになりました木邨でございます。よろしくお願いいたします。

昨年より自治会を中心に「まちづくりを考える会」を設立し、まちの現況や課題認識、まちの将来の検討などをテーマに勉強会を行ってきました。その中で、「まちなか再生エリア」について、まちづくり協議会を設立し、まちづくりを進めることになりました。

協議会の発足前に実施されたアンケートでは、地権者の大半の皆様が、道の狭さや空家の増加、地域活力の衰退などの課題に対して危機感や不安を抱かれており、課題解消に向けた活動についてご賛同を頂いております。

当地区の課題解消に向けたまちづくりを進めるためには、従来の行政主導の方法ではなく、行政の協力を得ながら、地元や地権者が主体的に考え、取り組む必要があると考えています。

今後、協議会では、具体的にまちづくりをどのように進めるのかについて検討していきますので、会員の皆様方の多大な御支援・御協力をよろしくお願い申し上げます。

## ■まちづくりアンケート調査結果について

7月～8月にかけて地権者の皆さまを対象に、まちづくり活動の認知度やご意向の把握を目的にアンケート調査を実施しました。その調査結果をお知らせします。

- 調査方法：郵送によるアンケート調査
- 調査時期：平成24年7月3日～8月6日まで
- 調査対象：まちなか再生エリア内の土地所有者（180名）
- 回答数：114件（回答率：63.3%）

※アンケート集計における注意点

小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

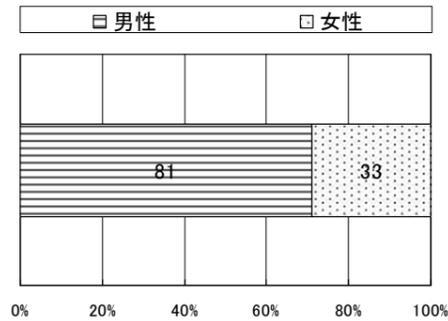
### ■アンケートのまとめ■

- まちづくり活動は必要との方が約7割おられた
- まちづくり活動は必要ないと回答はなし
- 有効に利用されていない土地が「空き家・空き地」で3割以上ある
- まちの課題として「自動車が通れる道がない」約4割、「空き家・空き地が多い」が約2割である
- まちづくりを考える会の活動認知度は約2割弱であり、今後、協議会活動の広報活動を積極的に行う

### 1. 回答された方の属性について

#### ●性別

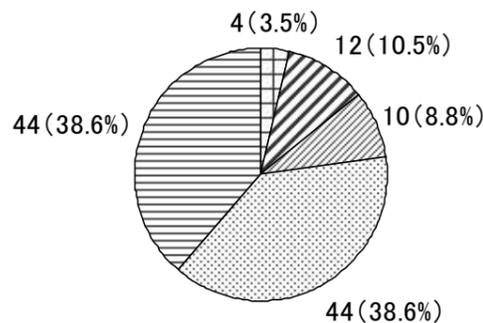
男女の構成比は、男性（71.1%）、女性（28.9%）となっています。



#### ●年齢

「60歳代」「70歳以上」（ともに38.6%）で、次いで「40歳代以上」（10.5%）となっています。60歳代以上は、回答者全体の約77%の構成となっています。

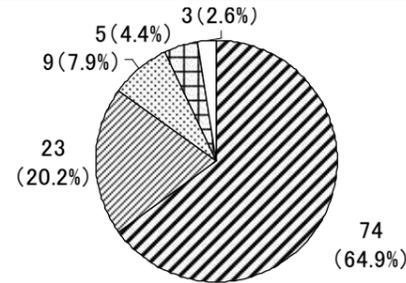
□20代以下 □30代 □40代 □50代 □60代 □70代以上



#### ●住所

現住所は、「地区内」（64.9%）が最も多く、次いで、「市内（地区外）」（20.2%）、「市外（府内）」（7.9%）となっています。

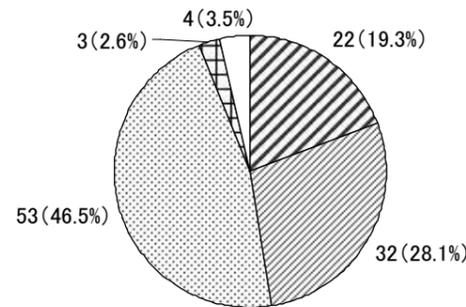
□地区内 □市内 □市外（府内） □市外（府外） □未記入



### 2. まちづくりを考える会の活動の認知度について

「まちづくりを考える会」の活動について、回答者の約半数が「全く知らない」（46.5%）、次いで、「名称を聞いたが内容は知らない」（28.1%）、「名称も内容も知っている」（19.3%）となっています。地区内在住者では、「全く知らない」（44.4%）となっています。

□名称も内容も知っている □名称は聞いたが内容は知らない  
□全く知らない □その他  
□未記入

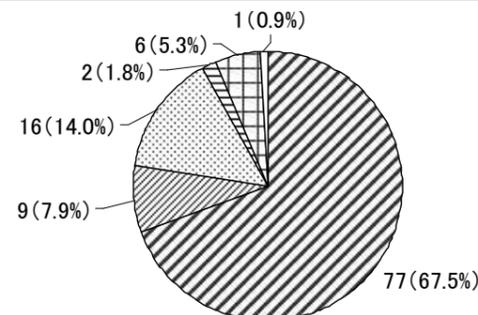


○その他には「広報・回覧板で知った」「名称は知らないが内容は知っている」の回答がありました。

### 3. 「まちづくりを考える会」の活動に対する意見

「まちづくりを考える会」の活動について、回答者の約7割が「必要な活動」（67.5%）で、最も多く、「よい活動で参加したい」（7.9%）となっています。一方で、「何ともいえない」（14.0%）と回答があります。なお、「必要ないと思う」と回答された方はいません。

□必要な活動 □よい活動参加したい □何ともいえない  
□自分には関係ない □その他 □未記入

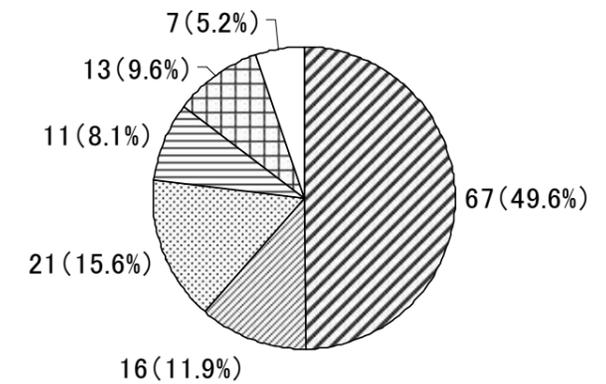


○その他には「わからない」「構想と実践のずれが生じないか」「活動すら知らなかった。突然すぎて失礼」といった回答がありました。

### 4. まちなか再生エリア内の土地利用状況について

土地利用の状況として、「住宅」（49.6%）、「駐車場」（8.1%）であり、「空地」（11.9%）「空家」（15.6%）となっており、約3割（27.5%）が土地を有効に利用できていない状況です。

□住宅 □空地 □空家 □駐車場 □その他 □未記入



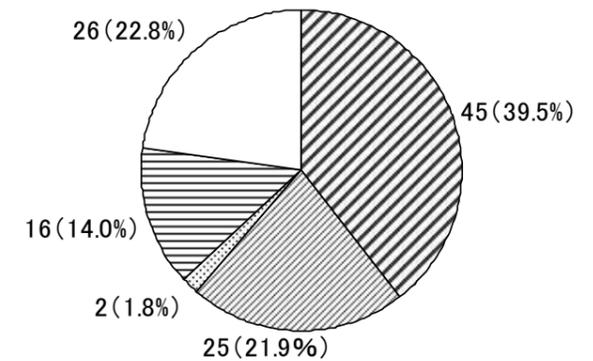
○その他には「店舗」「納屋・畑」「倉庫」といった回答がありました。

※複数回答：133

### 5. まちなか再生エリア内の課題意識について

「車が通れる道路がない」（39.5%）、次いで「空地・空家が多い、治安が悪い」（21.9%）となっています。

□車が通れる道路がない □空地、空家多く治安が悪い  
□家屋の建替えができない □その他  
□未記入



○その他には「下水道が未整備」「若者が集まる地域風土づくりが必要」「活気がない」「火災等の災害」の回答がありました。一方で、「問題なし」の回答が4件ありました。

### 6. まちづくりについての意見【自由回答】

- ・街灯が少ない。
- ・災害時、緊急時に強いまち
- ・早く取組んでほしい。
- ・スピード感をもって、地元・市・専門家で役割分担して進めてほしい。
- ・居住者の負担は避けてほしい（補助金の活用など）
- ・後継者不足が心配
- ・車が通れる道がほしい。
- ・希望と現実が一致しないではないか。
- 等